

サービス産業動向調査利用研究会（第2回）議事概要

1 日 時 平成20年12月2日（火）16:30～18:10

2 場 所 総務省第2庁舎6階特別会議室

3 出席者 委員：吉澤座長、西郷委員、宇南山委員、大森委員、肥後委員（日本銀行）、小出委員（統計センター）、土井委員（統計センター）
事務局：吉崎統計調査部長、杉山調査企画課長、栗原調査企画課調査官、清水経済統計課長

4 議 題

- (1) 未回収結果の補定方法について
- (2) 指数の作成方法について
- (3) その他

5 議事概要（主な意見等）

(1) 未回収結果の補定方法について

- ・ 今回の評価式は、実測値よりも補定値が大きくなった場合に誤差が大きくなる特性がある。分子と分母を入れ替えたものも計算するとよいのではないか。
- ・ 回帰式による補定方法について、対数による直線回帰の係数だけでなく、指数関数に戻した時の係数を人単位、千円単位で示すと分かりやすいのではないか。
- ・ 回帰係数及び変化率の計算においてゼロを除外しているが、考慮するようにした方がよいのではないか。
- ・ 変化率の計算について、前月もゼロ、当月もゼロであれば、変化率はゼロ分のゼロで1と考えることもできるのではないか。ゼロとなることは多くないと考えられるので、あまり問題にならないのではないか。
- ・ 誤差が大きくなっている産業について、要因分析をすべきではないか。

(2) 指数の作成方法について

- ・ 価格として用いたデータについて、個人向けサービスと企業向けサービスの配分比率を、サービス業基本調査の結果から算出することは、良いアイデアだと思うが、IO表から配分比率を算出することも考えられるのではないか。
- ・ 試算においては、ラスパイレス型だけでなくパーシェ型でも確認するとよいのではないか。
- ・ 企業向けサービス価格指数との対応が適切でない品目が存在するので、改善案を提示する。

6 次回の予定 平成21年2月